






















### 気になるキーワード

 旅行	 国内旅行	 海外旅行	 ワーホリ	 ホテル予約	 旅行保険	 レンタカー
 きれい	 全身エステ	 メンズエステ	 脂肪吸引	 ダイエット	 永久脱毛	 わきが
 教育	 パソコン教室	 メイク学校	 専門学校	 英会話学校	 声優専門学校	 無料セミナー

[PR]【無料】見たい動画がすぐに見つかる！ダウンロードも簡単！どこでも持ち出せる！【最強動画ソフト】

## ソウさんの田舎CIL体験レポート



### ◎プロフィール◎

ネイ・リン・ソウさん

25歳。ミャンマー・ヤンゴン（首都）出身。ポリオ（肢体不自由）で、ミャンマーでは松葉杖を使って生活していました。日本に来てからは、車イスを使っています。ミャンマーでは、大学2年生、通信教育で地理学を学んでいます。趣味は、旅行。友達がいる時にします。日本の好きな食べ物は、大きい海の魚料理。生魚は苦手！

## ★★田舎のCIL(NPO法人チャレンジド)体験研修プログラム・プレビュー★★

「みんなで交流しながら、日本の文化を感じよう。ミャンマーのこともいっぱい知ろう。」と、企画した3日間の田舎のCIL(NPO法人チャレンジド)体験研修プログラム。

◆初日は、“常滑世界のタイル博物館”で、世界各国のタイルや昔のトイレを見学し、時間を忘れて、はしゃぎ、見入っていました。世界のタイルが地図と一緒に展示しており、西へいくほどデザインが少しずつ変化していく様に「世界は繋がっているんだ」と感じました。その後、焼き物散歩道に行き、職人の魂のこもった作品を鑑賞しながら、風情漂う町並みを散策しました。急な坂や狭くて曲がった道が続き、車イスでは、かなりきついと思われる道でしたが、そこは「一緒に楽しもう！みんながいれば何とかなる」という思いで、突破しました。

途中、団子屋で一息つき、こだわりようゆ味のお団子と、奥さんとの会話に、心もおなかも、満たされました。おまけに、2本のソフトクリームを7人で何周もまわし食べし、気がついたら、みんなこんなに仲良しになってるんだと感じるほど。そして25歳の職人と熱く語り、指輪のサイズ調整という貴重なものを見せて頂きました。そんな瞬間が、心地よく、グローバルな世界へと、いざなってきました。散歩道の丘をおりるとセントレア。グローバルな心で、常滑の文化を見ると、とても雄大さを感じ、職人の想いと歴史の薫りただよ、あの道はなんと同居心地がよい所です。

夜は“びっくり”というお店で、ウェルカムパーティをしました。ソウさん含め、総勢9名の個性豊かな仲間が集まって、なかなかおもしろい交流ができたのではないのでしょうか。

◆2日目は、美浜に暮らす障害をもつ方2人のお宅を訪問し、ピア・インタビューをしました。ソウさんの関心は、家族・働く・学ぶということで、自分の生活史を語りながらうまく、二人のことを聞け、働くことや結婚のこと、一人暮らしのことなど、話ははずみました。その後、中部国際空港・セントレアに、バリアフリーツアーも兼ねて、遊びに行きました。ちょうど、開港一周年イベントのジャズ・コンサートをやっていて、空港に来ていることを忘れてしまうくらい、聴き入って楽しんで頂けました。

夜は、ソウさんがミャンマーの家庭料理をごちそうしてくれました。「お母さんより、うまくないけど…」と言いつつも、豚肉料理にサーモンや卵料理、手羽先とかぼちゃのスープ風の煮物と、なかなか本格的でした。初めて味わうミャンマーの味は、スパイスがきいて、おいしかったです。これがまた、本格的過ぎて、戸惑うくらいでした。

その後、“コロナの湯”で、2度目の銭湯と、ゲームまで体験してきました。実は、天然温泉らしく、ミストサウナや、露天風呂に満喫。ソウさんも2度目の温泉に、人もいっぱい、システムに戸惑いをみせたが、「これも体験！」と思い、楽しく入ってきました。銭湯では偶然障害をもった方が来ていて、その人は何も恥ずかしい様子はなく、またソウさんにとっては印象的な事だったようです。ゲームセンターで射撃のゲームをして、足と手を使い、現代的なゲームに見とれていました。

◆あつという間に最終日。お昼過ぎに名古屋で見送るまで、しっかりみっちり、ソウさんとのプログラム。

朝は、元大学職員の方が経営されている喫茶店で、モーニングしながら、ソウさんの生活史やミャンマーでの活動を聞き、インタビューをしました。その内容は、このページの下で、紹介しています。話を聞きながら、現地での障害者のおかれている状況とソウさんの思いが、想像ではあるけどリアルに伝わってきて、とても心に響きました。そして、こうして日本に来て研修を積んでいることが、彼にとっても、ミャンマーの仲間にとっても、すごく大きなことなんだと実感しました。

お昼は5人でランチをし、ソウさんは次の研修プログラム、名古屋市交渉に出席するため、名古屋市役所へ。無事に、2泊3日の日程を終え、見送ることができました。これからのソウさんの活躍に、期待しつつ、また会える日を楽しみに…。

## ◆プログラムを終えて

短い時間ではありましたが、その分密度の濃い時間を過ごすことができ、本当によい交流ができたように思います。ソウさんからも、「チャレンジドに来て、勉強したときは、すばらしくて とても楽しかったです」と、感想をもらいました。チャレンジドは、研修といっても、拠点はなく、事務所があるだけですが、その中でも、たくさんの方が関わってくれ、色々な話をし、一緒に和気藹々と楽しめたことが、お互いにとって、新鮮な刺激になったのではないのでしょうか。

同じアジアで、障害者福祉をよくしたいと、夢に向かって活動している仲間同士。それがミャンマーと日本、日本の中でも美浜に来るなんて、ほんとに貴重な出会いをしました。これからも、この縁を大切にしていきたいものです。ソウさん、これからもいっぱい経験を積んで、活躍してね！また、きっとお会いできそうな感じでまたの再会を約束したかんじでした。

きっと ミャンマーに帰ったら、ビクナ男になるだろうという予感を得て三日間の日程を終えました。

Written by Asami & 藤垣直也 & Ayuchi

## ソウさんへのインタビュー

Q:日本に来る前は、どんなことをしていましたか？

視覚障害者のために点字タイピングの仕事をしていました。あと、2年前に、仲間と一緒につくった身体障害者のグループで、ボランティアをしていました。

Q:ソウさんのライフストーリーを教えてください。

生まれた時は障害はなく、元気に走り回っていました。3歳のときに、ポリオにかかって、歩けなくなりました。それから22歳までは、ずっとハイハイしていて、杖も車イスも使えませんでした。だから、ほとんど家の中にいました。学校と家の往復の生活で、もちろん、他の障害者に会うこともありませんでした。

それが22歳のとき、手術をして、松葉杖で歩けるようになりました。それからは、仕事ももらうことができ、たくさんの方と会いました。色々な話をするうちに、お互いに気持ちを共有するようになっていきました。その当時、ミャンマーには、身体障害者の団体は、一つもありませんでした。そこで、私たちは、「一緒につくろう」と、7人の仲間と活動を始めました。

最初は、仕事が休みの日に、障害者の家で集まって、話をしました。家に行くのは、交通の問題で、大変なことがたくさんありました。でも、頑張って行きました。重度障害者の家に行った時、家族もその人も、とても喜んでくれました。その人は、いつも家にいて、さみしかったから。

Q:ソウさんたちがつくった団体では、どんな活動をしていますか？

1ヶ月に1回、障害者の家やお寺で集まっています。オフィスはまだありません。団体の会員は、2年で90人になりました。若い女の障害者が多いです。働いている人は、90人の中で3人だけ。障害者が仕事をするのは、とても難しいです。私たちの団体でも、障害者の働く機械をつくろうと、模索しているところです。去年、小さな床屋をつくりました。今、ヘアカットの技術をもっている障害者が3人、働いています。2003年、タイランドに研修に行った時、APCD (Asia-Pacific Development Center on Disability: アジア太平洋障害者センター) から、200ドル寄付をもらい、ミャンマーで子どものために活動しているNGOから少しお金を借りて、つくりました。そして、今度は障害をもつ女性の働く場として、裁縫の仕事を準備しています。でも、政府の補助は全くありません。話し合いはしましたが、アドバイスだけもらいました。政府はお金がないので、まずは、仕事の機会をいっぱいつくっていきたいと思っています。あと、団体では年に1回、旅行をします。障害者は、いつも家にいてさみしいから。みんなで行きたいところを決めて、70人くらいで、車を借りて行きます。でも、だっこしてもらうのが恥ずかしいので、来ない人が、20人くらいいました。車イスがあれば、大丈夫なんですけど…。



Q:日本で学びたいと思ったのは、なぜですか？

団体をつくったとき、ダスキン愛の輪研修の情報をインターネットで知り、ぜひ勉強したいと思いました。仲間もみんな応援してくれました。だから、日本でいっぱい学んで、それを団体のみんなに伝えたいです。

Q:日本にきて、おどろいたことは？

重度な障害をもっている人も、楽しく働いていることに、びっくりしました。ミャンマーではそのような人は、いつもベッドの上にあります。出かけることはできません。

Q:ミャンマーの障害者の生活と日本の障害者の生活の違いはどこなところですか？

日本では、一人暮らしをしている障害者が、多くなっています。ミャンマーにはいません。政府のサポートは何もないので、みんな家族と一緒に住んでいます。もし自分が日本人だったら、日本で一人暮らしができるだろうなと思います。

Q:これから日本でやってみたいことは？

障害者が働いている場所で、どうやって仕事をしているか、どうやって自立生活を送っているかについて、もっと勉強したい。デモも学びたいけど、ミャンマーではできない。禁止されているから。

Q:日本でデモに参加して、どう思いましたか？初めてのデモが、2月6日の「東横イン不正改造に対する抗議行動」でしたよね？！

その時私は、静かに考えてました。ミャンマーでもしやりたいと思って、悲しかった。



Q:チャレンジでの研修の感想は？

すごく楽しかったです。博物館や日本の焼き物のある所、いろんな場所に一緒に行って、すごく楽しかった。それに、みんなとてもフレンドリーで親切でした。オーバーフレンドリー(笑)。

インタビュー:石川亜紗美

インタビュー@輸唱曲(KANON) 2006年2月13日

[海外の障害者リーダーとの交友録へ](#)

[チャレンジ・トップページへ](#)

[習い事をするなら](#)

Gabaマンツーマン英会話で、英語力を身につけよう!

[www.gaba.co.jp](http://www.gaba.co.jp)

[年利2.9%から15.8%!](#)

期間限定金利!新登場、イーバンク銀行のカードローン

[www.ebank.co.jp](http://www.ebank.co.jp)

[ダイエット サプリメントなら](#)

本気でダイエットしたい人に!おすすめサプリメントが期間限定割引

[www.dhc.co.jp](http://www.dhc.co.jp)

スポンサーサイト

[PR] [石川県 不動産 税理士 専用サーバー レンタルサーバー 容量無制限ストレージ ホスティング カーテン ハワイ プリント基板 キヤバクアドレス 別荘 石川県 賃貸 弁護士 ハワイ オプションツアー 格安航空券 伊豆 不動産 デイトレ 貸会議室 田舎暮らし 別荘 オーダーカーテン 株取引 過払い金 金沢市 不動産 株式情報 電話占い 宮古島 ネットブック 交通事故 石川県 住宅 伊豆高原 不動産 過払い請求 薪ストーブ 造作家具 バリ 金沢市 住宅 アクシス 松浦建設 無料ホームページ](#)